



第14号：7月のイベント



ページ1～4

【糸東会ニュース】

第5回レベルアップ講座（九州）

第6回レベルアップ講座（関西）



ページ5～6

【各地区協議会（県連）ニュース】

埼玉県糸東会組手審判講習会

：8月のイベント



ページ7～8

【各地区協議会（県連）ニュース】

糸東会関東地区協議会

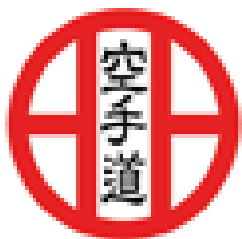
「組手審判講習会」



ページ9～10

【糸東会ニュース】

第7回レベルアップ講座（関東）



日時：令和7年7月6日（日）9：00～17：00

場所：久留米市荘島体育館

講師：坂本 清 1級資格審査員

小野 和宏 1級資格審査員

委員：坂本 龍也 指導委員会委員長

南 聡朗 指導委員会副委員長

高橋 秀和 指導委員会委員

参加者：19名

1級資格審査員の坂本清先生・小野和宏先生を講師にお迎えし、第5回レベルアップ講座が久留米市荘島体育館に於いて最高気温35.8℃の猛暑の中行われました。

九州圏内だけでなく広島、山口より総勢19名の参加者を迎えました。

午前、午後共に4グループに分かれ、師範、準師範、助教、糸東会4～8段の高段位取得を目的とするそれぞれの受講者に対して講義を行っていただきました。

受講者は本番の審査を想定して5分間の制限時間内に各自のテーマに則り指導方法を工夫して発表を行ないました。

「指導者としての審査を念頭に置き、どのような指導をしているのかを審査員の先生方に伝わるように、また指導される生徒が飽きずに、理解しやすい説明ができるように心がけて指導する事」とご指導をいただきました。

段位取得に向けた指導は、基本形、指定形、自由形を演武し、ご指導を受けました。

15時から講師方への質疑応答の時間をいただきました。

普段の稽古時において子供たちがわかりやすい指導の仕方から、普段自分自身が稽古している中での疑問点など様々な質問に対して、講師の先生方の経験や見解などをいただき大変有意義なお話を聞くことができました。

特に受講者からの分解の質問に対しては、教本に記載されていない技法や応用技などをご教授いただき、糸東流の技術の高さを痛感する内容となりました。

閉講式において小野講師から、審査に向けた日頃の稽古に対する心構えと、糸東会の指導者として正しい知識の習得が必要であるとの講評をいただきました。



参加者全員による集合写真



講習風景



第6回レベルアップ講座（関西会場）

日時：令和7年7月20日（日）

場所：兵庫県立常磐アリーナ（スポーツ館）

講師：山岡硯太郎先生・1級資格審査員（一社）全日本空手道連盟糸東会 副会長

坂本 清先生・1級資格審査員（一社）全日本空手道連盟糸東会 副会長

委員：坂本 龍也 委員長

南 聡朗 副委員長

前野弥栄子 委員

受講者：31名（本年最高人数）（過去最高？）

日本全国で梅雨も明け、雲一つない晴天に恵まれ関西会場のレベルアップ講座が開催された。

開講式では、講師坂本先生より、「猛暑の中、関西は勿論、関東・東海・四国地区より遠路ご出席を頂いた熱意に感謝します。本会レベルアップ講座は、本年開催の各地区段位審査会、師範等資格審査会、並びに高段位・称号審査会での合格を目指した講習会です。限られた時間ですが目的達成の為に頑張ってください。」とお言葉を頂いた。

講座は、今回31名の参加者があり5グループに分かれての運びとなった。委員から各受講者に今までの審査会での質疑応答の内容等を伝え、受講者が相互にディスカッションを行い、講師の先生方に引き継いだ。

講師の山岡先生、坂本先生からは、各審査会での評価基準について下記の指導をうけた。

師範等資格審査では、糸東流の技術を正しく指導する中において全体を見ているか、何気ない動きにも注意を払って指摘できているかを考える。高段位審査では、目先・指先全てに神経を集中する形を目指す。称号審査では、提出された論文に則した内容の実技を行う。

関西地区でのレベルアップ講座は最終となるが、今回初参加の受講者からは、頭で整理することが大変で、メモが追い付かないほどに盛りだくさんであったとの感想が聞かれた。

閉講式の講評で、山岡講師より、「各地域より遠路お疲れさまでした。皆様の技術は全体にあがってきたがまだ詰めが甘い。曖昧な表現をせず自信を持って臨めるよう、各道場で練習を重ねていただきたい。」と締め括っていただいた。

当日の会場は、冷房が効いていたが、道衣は雨に打たれたかのように汗を吸い、まさに充実したレベルアップ講座であった。



参加者全員による集合写真



講習風景



埼玉県糸東会組手審判講習会

日 時：令和7年7月5日（土）9：00～13：00

場 所：秀明英光高等学校 第3校舎 5F

講 師：出雲照夫・山崎恭志

参加審判員：18名

参加選手：秀明英光高等学校空手道部の皆さん他

秀明英光高等学校のご協力により埼玉県糸東会組手審判講習会が開催された。

講習会では、出雲講師による座学のあと2班に分かれ出雲講師・山崎講師による実技講習が行われた。普段接しない高校生のスピードに対応したポイントの取り方、掴み・プッシングへの注意の与え方等、審判レベルの向上及び若手審判員の育成と8月に行われる全国大会に向けて大変為になる講習会となった。今回ご協力頂いた秀明英光高等学校空手道部の顧問の先生方と選手の皆さん、開催に携わった関係者の皆様に感謝申し上げます。



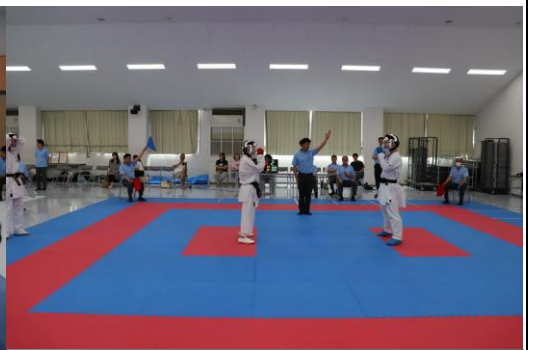
参加者全員による集合写真



開 講 式 の 様 子



座 学 の 様 子



実 技 講 習 の 様 子



糸東会関東地区協議会 組手審判講習会

日 時：令和7年8月3日（日）13：00～16：45

場 所：東洋大学 白山キャンパス

講 師：審判部長 長谷川克英先生・彼ノ矢健一先生・橋本 淳先生

委 員：永嶋政治先生

選 手：東洋大学2部空手道部の選手の皆さん他

受講者：16名

東洋大学空手道部のご協力により関東地区協議会組手審判講習会が開催された。

講習会では、長谷川審判部長より8月16・17日に行われる糸東会全国大会に向けて組手競技・形競技の判定基準について、詳しく説明があった。特に形競技における試合開始から判定に至るまでの流れと連続技や立ち方等の見極めなどの注意すべき点について事例を交えながら説明があり、全国大会に参加される審判の先生方との判定基準等の情報の共有がなされた。実技講習に於いては、長谷川講師・彼ノ矢講師・橋本講師より個々の審判レベルの向上及び若手審判員の育成のため事例を交えながら指導をして頂き、大変身になる講習会となった。今回ご協力を頂いた東洋大学2部空手道部監督及び選手の皆さんと開催に携わった関係者の皆様に感謝申し上げます。



参加された選手の皆さんと審判員の先生方



講師の先生方



座学の様子



実技講習の様子



第7回レベルアップ講座（関東）

日 時：令和7年8月3日（日）

場 所：糸東会本部道場

講 師：岩田 源三 1級資格審査員

有田 豊 1級資格審査員

委 員：大木 利夫 指導委員会委員

手塚 雄一 指導委員会委員

糸東会本部道場において1級資格審査員の岩田源三先生・有田豊先生を講師にお迎えし、第7回レベルアップ講座が受講者22名参加で行われた。

午前中は2グループに分かれ、岩田講師は称号・指導資格受審予定者を対象に、有田講師は段位受審予定者の指導を行っていただいた。称号・指導資格受審予定者に対して岩田講師から「指導者としてしっかり自信をもって指導できているか、糸東会の技術を正しく伝えているか、自分が理解したうえで生徒に分かりやすく伝えられているか、間違っているところを正しく修正できているか」審査員が見ているポイントをわかりやすく説明いただいた。

段位受審予定者の指導は、受講者が形を演武し、それに対してほかの受講者同士が意見を出しあう、ディスカッション方式で行われた。その中でもポイントとなる技や体の使い方や受講者から出た質問を、分解組手を交えながら講師の先生の説明がなされ、受講者の理解を深めていた。また、有田講師から「高段位ほど、正しい姿勢や重心を意識した移動、糸東会としての正しい技が求められる」旨の説明があり、日頃からの基本稽古の反復の大切さを学んだ。

午後は称号・指導資格を有田講師に、段位受審を岩田講師が担当いただいた。1日の講習会を通して、緊張感がありながらも活発な意見交換ができ、受講者からは充実感を感じ取れた。閉講式において有田講師から、糸東会の指導者として正しい知識習得のため日頃からの基本稽古の大切さのお話をいただき、受講者全員が合格してほしいと激励の言葉をいただいた。



参加者全員による集合写真



有田講師による指導の様子



岩田講師による指導の様子